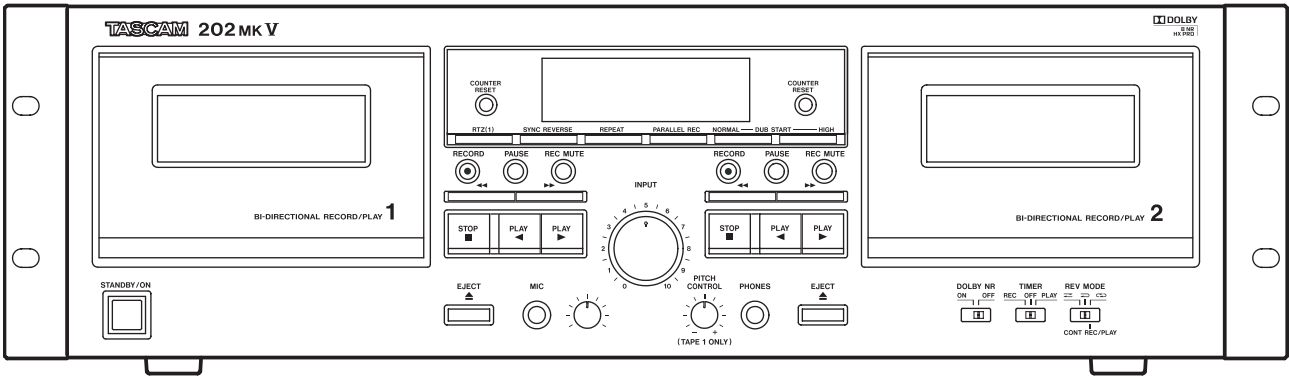
D01053901A

202MKV

Double Auto Reverse Cassette Deck

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

⚠注意

	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所 ・湿気やほこりの多い場所 ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM 202MKVをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、本製品の性能を十分に発揮させ、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

目次

主な特長

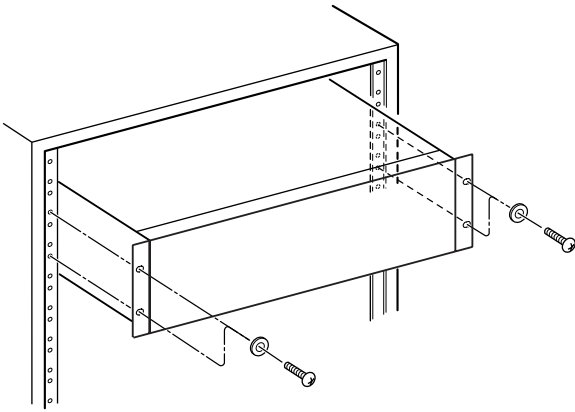
- 連続再生、連続録音
- 倍速ダビング、定速ダビング
- ピッチコントロールを装備
- マイクミキシングを装備
- HX PROを搭載
- 3U ラックマウント

本製品の構成

本製品の構成は以下の通りです。
なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- 202MKV本体　×1
- ラックマウントビスキット　×1
- 保証書　×1
- 取扱説明書（本書）　×1

設置上のご注意

- 本製品の動作保証温度は摂氏5度～35度です。
- 本製品は水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上のスペースを、後ろに10cm以上のスペース開けてください。

結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

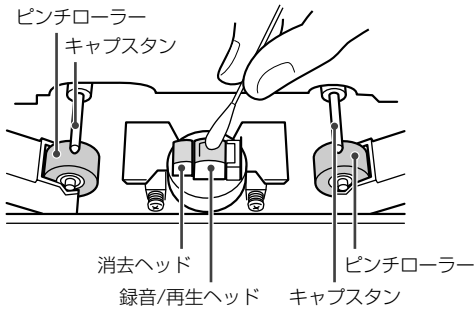
製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。
化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を痛める原因となります。

ヘッドの清掃

ヘッド部が汚れると、再生／録音の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

注 意

クリーニング液が乾くまで再生／録音を行わないでください。

カセットテープについて

取り扱い上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープの磁性体コーティング面に直接手を触れないでください。
- ゴミやホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での使用・保管は避けてください。
- 強磁場での使用、保管は避けてください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。

お勧めめできないカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作や性能が得られないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

形状精度の悪いカセットテープ

カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるカセット。

長時間テープ

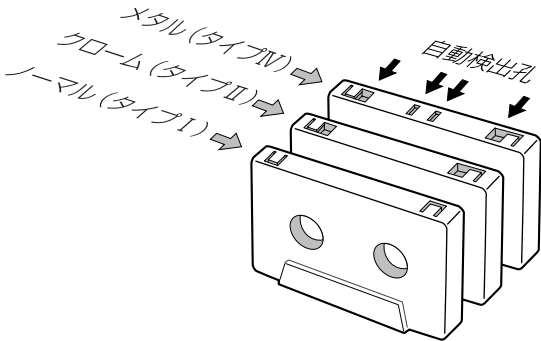
90分を越えるテープは大変薄くて伸びやすいため、ワウ・フラッターの原因ともなります。また、テープが機械に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

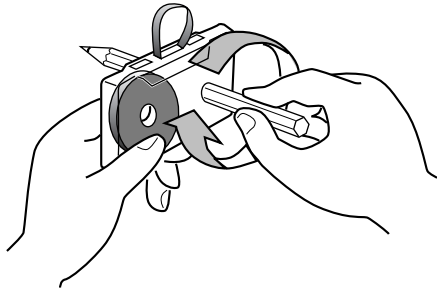
エンドレステープ

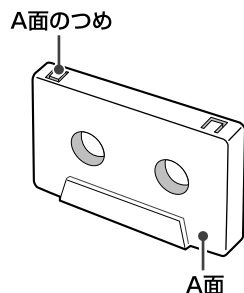
巻き込まれる恐れがありますので、お使いにならないでください。

テープの自動検出孔について

カセットにはテープ自動検出孔が付いています。
本機ではテープの種類が自動検出されますので、必ず検出孔のついたカセットをお使いください。

- 本機ではノーマルテープ（タイプⅠ）、クロームテープ（タイプⅡ）、メタルテープ（タイプⅣ）を再生できます。
  録音にはノーマルテープ（タイプⅠ）またはクロームテープ（タイプⅡ）を使用してください。
- 本機の、TAPE1とTAPE2は別々にテープの種類を検出しますので、種類の異なるカセットを同時に使用することができます。

テープの「たるみ」

ご使用の前に、カセットのテープがたるんでいないか確かめてください。テープがキャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。

録音防止用のつめ

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、録音防止用のつめがついています。つめはカセットのA面、B面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、録音防止装置が働いて録音ができなくなります。

再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

注 意

テープ自動検出孔はふさがないでください。

ドルビーNRシステムについて

録音時に発生する「シー」というテープノイズを低減するのがドルビーNRシステムです。本機はBタイプを内蔵しています。

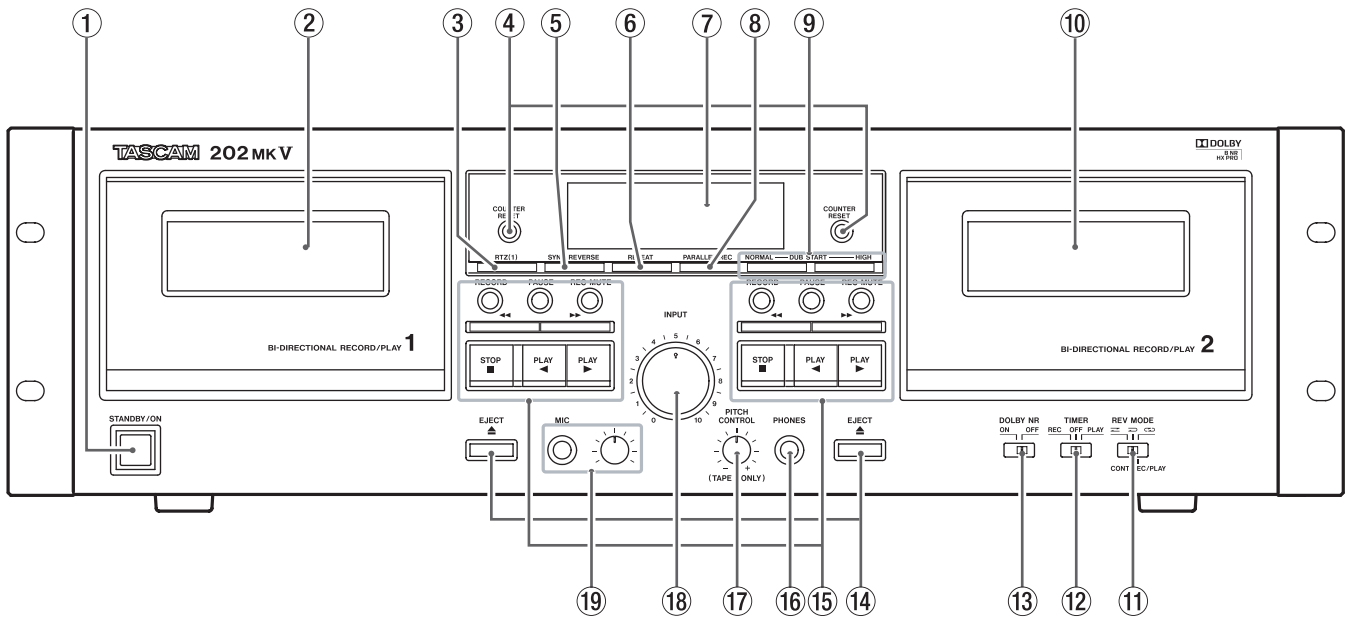
- ドルビーNRでシステムは録音→再生の両方で効果を発揮しますので、再生するときは録音した時と同じNR　IN/OUTのポジションに合わせてください。
- ドルビーNRで録音したカセットは、ドルビーB NR INとメモしておきましょう。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
HX Pro ヘッドルームエクステンションは、バングアンドオルフセンの考案です。
Dolby、ドルビー、HX ProおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

アフターサービス

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。
    - 型名、型番（TASCAM 202MKV）
    - 製造番号（Serial No.）
    - 故障の症状（できるだけ詳しく）
    - お買い上げ年月日
    - お買い上げ販売店名

第2章　各部の名称

フロントパネル

① STANDBY/ONスイッチ
電源のスタンバイ／オンを切り換えます。

② TAPE1カセットホルダー

③ RTZ(1)キー（TAPE1のみ）
テープをカウンターゼロポイントにロケートします。（13ページ）

④ COUNTET RESETキー
TAPE1／TAPE2のテープカウンターを "0000" にリセットします。（11ページ）

⑤ SYNC REVERSEキー
ダビングする時のシンクロリバースのオン／オフを切り換えます。（20ページ）

⑥ REPEATキー
再生中の指定位置間を、繰り返し再生します。（13ページ）

⑦ ディスプレイ
TAPE1／TAPE2のカウンターやレベルメーターなどが表示されます。

⑧ PARALLEL RECキー
同時録音を開始します。（18ページ）

⑨ DUB STARTキー（ダビングスタート）
TAPE1からTAPE2へのダビングを開始します。定速ダビングNORMALキーと倍速ダビングHIGHキーがあります。（18、19ページ）

⑩ TAPE2カセットホルダー

⑪ REV MODEスイッチ
リバースモードを切り換えます。（10、12、14、15、17、18、19ページ）

⑫ TIMERスイッチ
別売のオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生／録音ができます。通常はオフにしておいてください。（21ページ）

⑬ DOLBY NRスイッチ
ドルビーNRオン／オフを切り換えます。録音時と再生時は同じポジションにしてください。（10、14ページ、ドルビーの説明は6ページ参照）

⑭ TAPE1／TAPE2 EJECT [⏏] キー
それぞれのカセットホルダーを開きます。

⑮ TAPE1／TAPE2操作キー

RECORD [●] キー
RECORDキーを押すと録音待機状態になります。（14、15、17ページ）

PAUSEキー
再生／録音を一時停止します。（11、15、17、20ページ）

REC MUTEキー
録音中に4秒間の無録音部分を作るときに使用します。（15、20ページ）

◀◀ キー／ ▶▶ キー
テープを早送り／巻き戻しします。（11、12ページ）

STOP [■] キー
テープの再生／録音を停止します。

PLAY [◀／▶] キー
テープを再生します。

⑯ PHONES端子
ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグをここに差し込んでください。

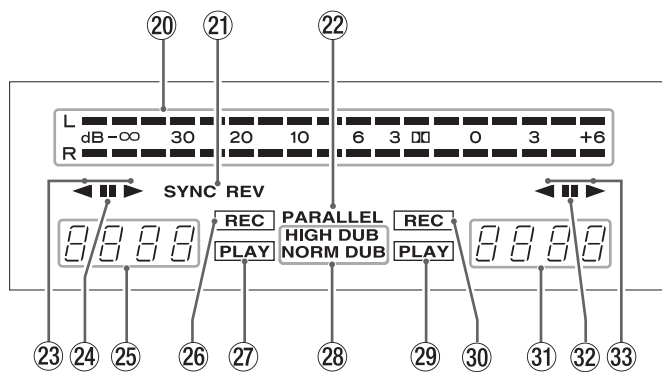
⑰ PITCH CINTROLつまみ
再生の速度を変えることができます。（11ページ）

⑱ INPUTつまみ
録音レベルの調節に使用します。（14、15、16ページ）

⑲ MIC端子／レベルつまみ
マイクを使用して録音する時は、ここにマイクのプラグを差し込み、つまみをまわして適切なレベルに調節してください。（16ページ）

注 意

ステレオマイクには対応しておりません。必ずモノラルマイクをお使いください。

ディスプレイ

⑳ ピークレベルメーター
再生／録音中のレベルを表示します。

㉑ シンクロリバース表示 [SYNC REV]
シンクロリバースがオンの時に点灯します。（20ページ）

㉒ 同時録音表示 [PARALLEL]
同時録音がオンの時に点灯します。（18ページ）

㉓ TAPE1 再生／録音方向表示
TAPE1 の再生／録音方向を表示します。

㉔ TAPE1 一時停止表示
TAPE1 が一時停止状態の時に点灯します。

㉕ TAPE1 カウンター
通常はTAPE1 のカウンターを表示します。クリアボタンを押すと "0000" にリセットされます。
REPEAT動作時は、"RE" と表示されます。

㉖ TAPE1 録音表示
TAPE1 が録音状態の時に点灯します。

㉗ TAPE1 再生表示
TAPE1 が再生状態の時に点灯します。

㉘ ダビング表示
TAPE1 からTAPE2 へのダビングの時に、定速ダビングは "NORMAL DUB" が、倍速ダビングは "HIGH DUB" が点灯します。（19、20ページ）

㉙ TAPE2 再生表示
TAPE2 が再生状態の時に点灯します。

㉚ TAPE2 録音表示
TAPE2 が録音状態の時に点灯します。

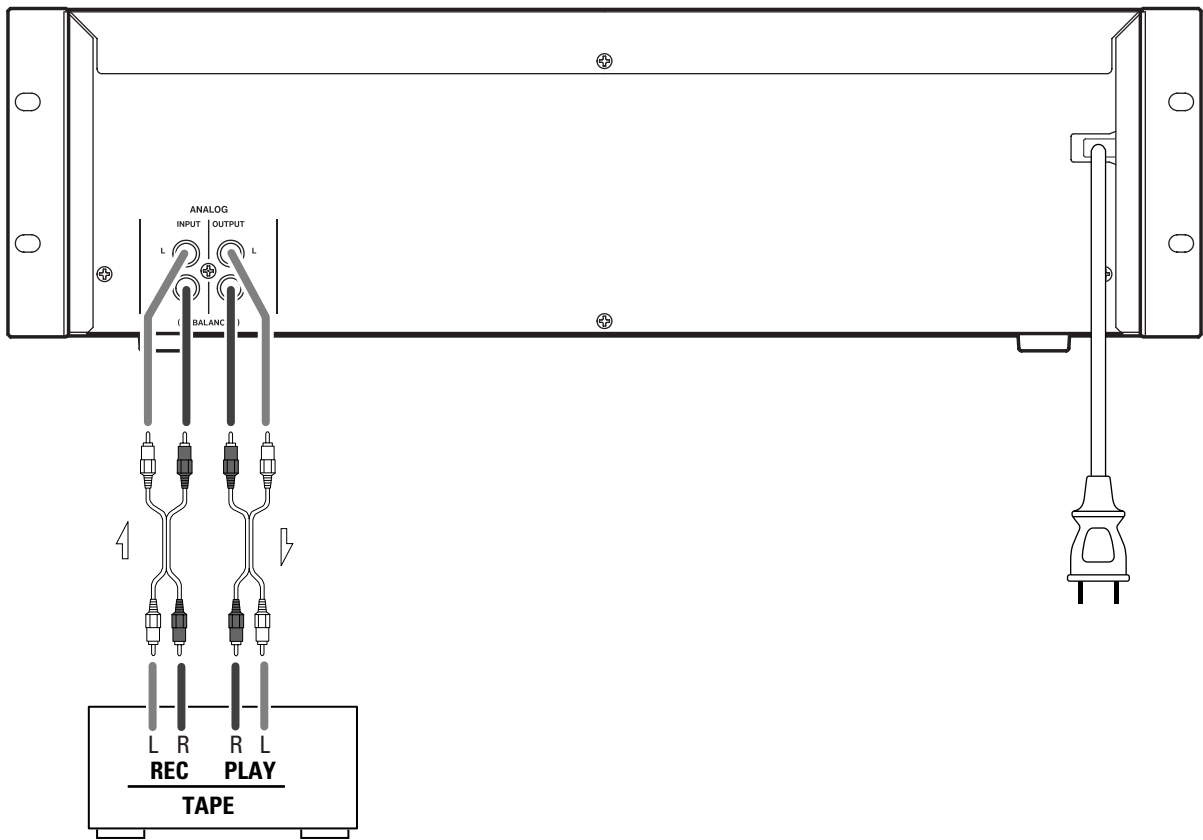
㉛ TAPE2 カウンター
通常はTAPE2 のカウンターを表示します。クリアボタンを押すと "0000" にリセットされます。
REPEAT動作時は、"RE" と表示されます。

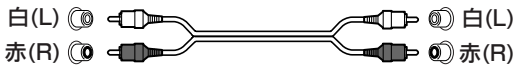
㉜ TAPE2 一時停止表示
TAPE2 が一時停止状態の時に点灯します。

㉝ TAPE2 再生／録音方向表示
TAPE2 の再生／録音方向を表示します。

第3章　接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

音声入出力端子 [LINE IN/OUT]

RCAケーブルでアンプの音声入出力端子と接続してください。
音声入出力端子はLが左チャンネル、Rが右チャンネルです。白のピンプラグを白（L）端子に、赤のピンプラグを赤（R）端子に接続してください。

メ モ

プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

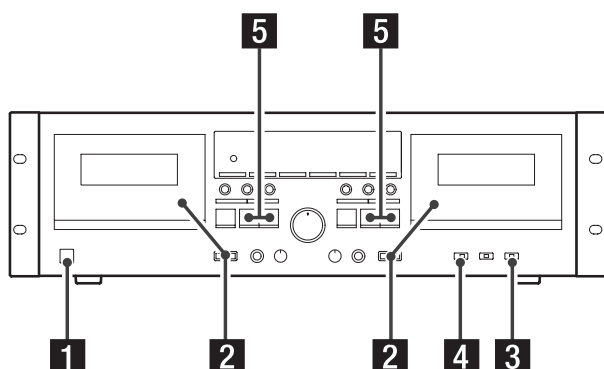
電源プラグ

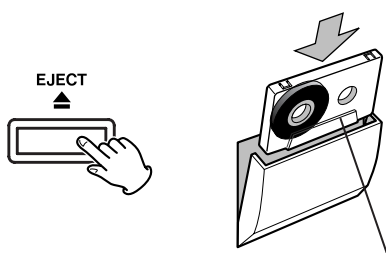
電源プラグを交流100Vの電源コンセントに差し込んでください。

注 意

交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

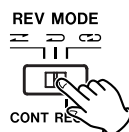
第4章　再生 (TAPE1 ／TAPE2)

1 電源を入れる。

2 カセットを入れる。

A面を手前にする

EJECT [⏏] キーを押すとカセットホルダーが開きます。
テープが露出している部分を下に、A面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

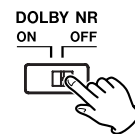
メ モ

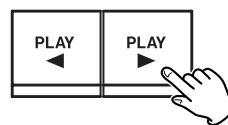
本機ではノーマルテープ（タイプⅠ）、クロームテープ（タイプⅡ）、メタルテープ（タイプⅣ）を再生できます。

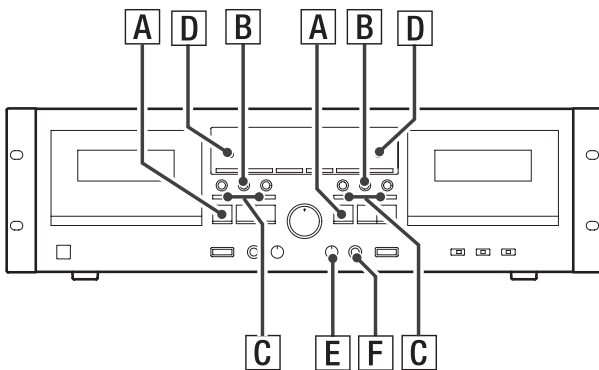
3 リバースモードを選ぶ。
REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。

⇄：A面またはB面の片面再生

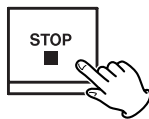
⊃：A面とB面の両面再生

⊂⊃：A面とB面の両面繰り返し再生（連続5往復再生で停止）

4 ドルビーNRのオン／オフを切り換える。

ドルビーNRを使って録音されたテープを再生する時は、ONにしてください。
ドルビーNRを使わずに録音されたテープを再生する時は、OFFにしてください。

5 PLAY [◄／►] キーを押す。

► ：A面から再生が始まります。
リバースモードが⇄の時はA面の再生が終わると停止します。リバースモードが⊃の時は続けてB面を再生してから停止します。リバースモードが⊂⊃の時は連続5往復再生して停止します。

◄ ：B面から再生が始まります。
スモードが⇄の時と⊃の時はB面の再生が終わると停止します。リバースモードが⊂⊃の時はB面を再生した後、連続4往復再生して停止します。

A 再生をやめるには

STOP [■] キーを押すと再生が停止します。

B 再生を一時停止するには

PAUSEキーを押すと再生が一時停止します。PAUSEキーまたはPLAY [◄／►] キーを押すと再び再生が始まります。

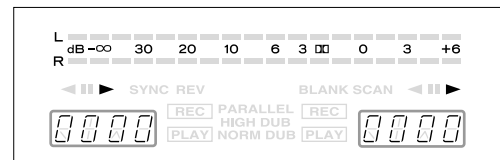
メモ

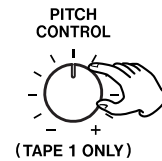
一時停止中に、ディスプレイのテープ再生／録音方向インジケーター "◄／►" と逆方向のPLAY［◄／►］キーを押すと、一時停止のままでテープ再生方向のみが変わります。

C 早送り／巻戻し

停止中に ◄◄ キーまたは ►► キーを押してください。
中断したいときはSTOP [■] キーを押してください。

D テープカウンター

COUNTER RESETキーを押すと、それぞれのテープカウンターが "0000" にリセットされます。

E ピッチコントロール（TAPE1のみ）

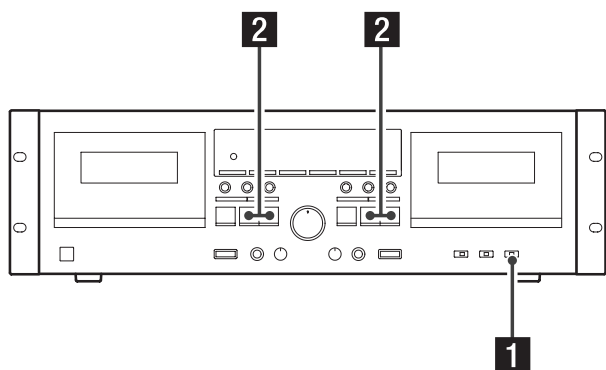
カセットの再生時にピッチ（音程）を変えることができます。（録音中／ダビング中は働きません）

PITCH CONTROLつまみを右に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。（最大12%、音程で約1音上がります）
左に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。
（最大12%、音程で約1音下がります）

F ヘッドホンで聴くには

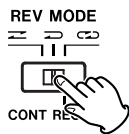
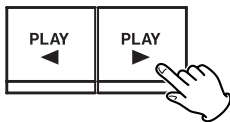
ヘッドホンプラグをPHONES端子に差し込むと、ヘッドホンで音を聞くことができます。
ヘッドホンプラグを差し込んでも、音声出力端子からの音声は出力されます。

注 意

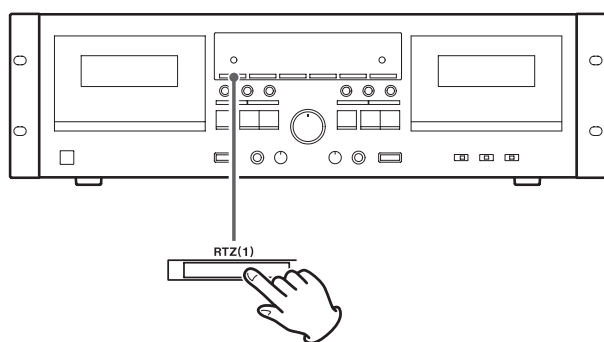
ヘッドホンの種類によっては、大きな音がでる場合があります。

第5章　連続再生

TAPE1とTAPE2を連続して再生することができます。

- TAPE1とTAPE2に再生するカセットを入れてください。
- ドルビーNRスイッチは録音されたときと同じポジションにしてください。

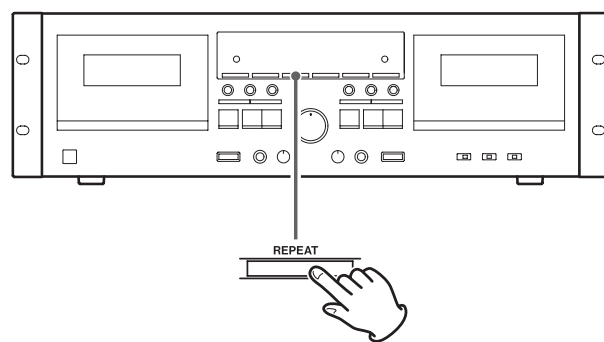
1 停止中にREV MODEスイッチで⊂⊃（CONT PLAY）を選ぶ

2 PLAY [◄／►] キーを押す

再生は、TAPE1またはTAPE2のA面、B面どちらからでも開始できます。
再生される順序は次のようになります。

TAPE1：　A面 → B面
　　　　　↑　　　↓
TAPE2：　B面 ← A面

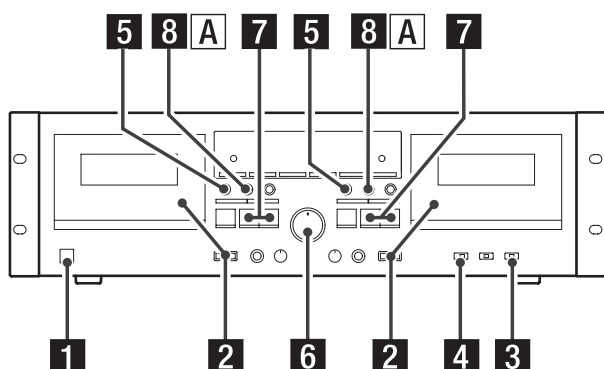
第6章　RTZ(TAPE1のみ)

RTZ(1)キーを押すと "0000" の位置にロケートします。

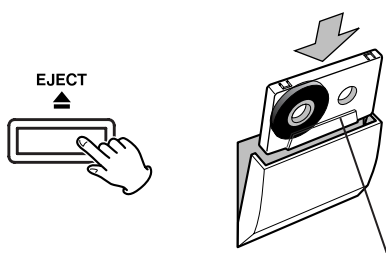
メ モ

RTZ（Return-to-zero）は、TAPE1のみ動作します。

第7章　REPEAT

再生中、リピートしたい区間の始点（Aポイント）でREPEATキーを押します。この時ディスプレイには、"RE" と表示します。
次にリピートしたい区間の終点（Bポイント）でREPEATキーを押します。
自動的にAポイントにもどり再生を開始し、Bポイントまで再生します。Bポイントに達すると、Aポイントまで巻きもどし、再生を開始、この繰り返し行います。
STOP [■] キーで解除します。

注 意

- リピート動作中は、REPEATキー、STOPキー以外のキーは受け付けません。
- 始点から終点までテープカウンターで10カウント以内ではこの動作は行う事が出来ません。
- リピート可能な区間は現在再生している方向のみです。
- 20回リピート再生を繰り返した後自動的に停止します。

1 電源を入れる。

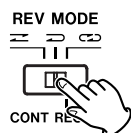
2 録音用のカセットを入れる。

A面を手前にする

EJECT［≜］キーを押すとカセットホルダーが開きます。テープが露出している部分を下に、A面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

メモ

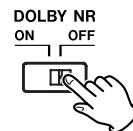
- カセットの誤消去防止用ツメが折れている場合は、セロハンテープなどで孔を塞いでください。
- 本機ではノーマルテープ（タイプⅠ）、クロームテープ（タイプⅡ）に録音できます。

3 リバースモードを選ぶ。

REV MODEスイッチでリバースモードを選んでください。

⇄　：A面またはB面の片面録音

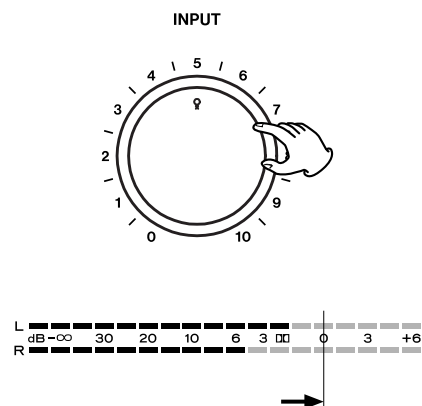
⊃/⊂⊃：A面とB面の両面録音

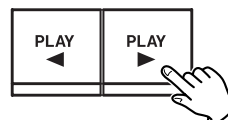
4 ドルビーNRのオン／オフを切り換える。

ドルビーNRを使用して録音する時は、ONにしてください。

ドルビーNRを使わずに録音する時は、OFFにしてください。

5 RECORD［●］キーを押す。

録音待機状態になり、❚❚と REC が点灯します。

6 録音レベルを調節する。

録音するソースの音を出し、音が最も大きい時のメーターの表示が0dBになるように、INPUTつまみで調節してください。

7 テープの録音方向を選ぶ。

ディスプレイのテープ再生／録音方向インジケーター "◀／▶" が録音したい方向と逆になっている場合は、録音したい方向のPLAY［◀／▶］キー押してテープ録音方向を変えてください。

注意

現在のテープ録音方向と同じPLAY［◀／▶］キーを押すと、録音が始まりますのでご注意ください。

8 録音を始める。

PAUSEキーまたはテープ録音方向のPLAY［◄／►］キーを押すと録音が始まります。

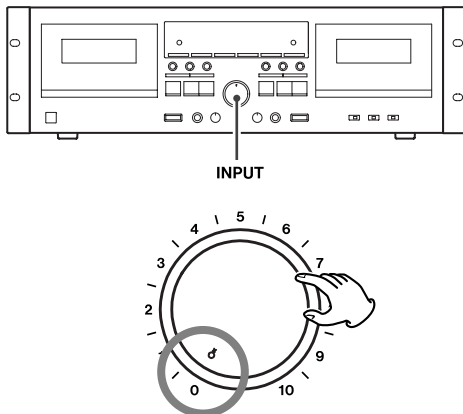
メモ

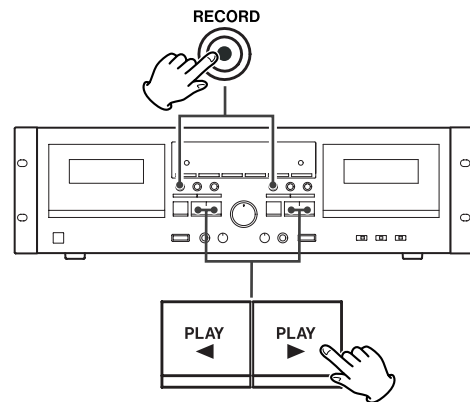
- 両面に録音する場合は、リバースモードを⊐または⊂⊃にして、フォワードPLAY［►］キーを押してください。リバースPLAY［◄］キー押して録音した場合は、B面だけ録音して停止します。
- 録音を終了する時はSTOP［■］キーを押してください。

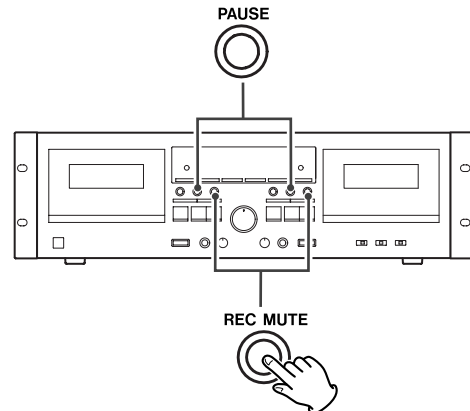
A 録音を一時停止するには

録音中にPAUSEキーを押すと録音が一時停止します。もう一度押すと録音を再開します。

録音を消去するには

録音すると、以前テープに録音されていた内容は消去されます。上書きせずに録音内容を消去したい場合は、INPUTを最小（0）にして録音してください。

すぐに録音を開始するには

急いで録音したいときは、RECORD［●］キーを押しながら、録音したい方向のPLAY［◄／►］キーを押してください。すぐに録音が開始されます。

無録音状態にするには

録音中にREC MUTEキーを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、録音一時停止状態になります。
PAUSEキーを押すと、録音を再開します。

4秒以上のスペースをつくるには：

REC MUTEキーを4秒以上押し続けます。4秒以上押し続けて指を離すと、録音一時停止状態になります。

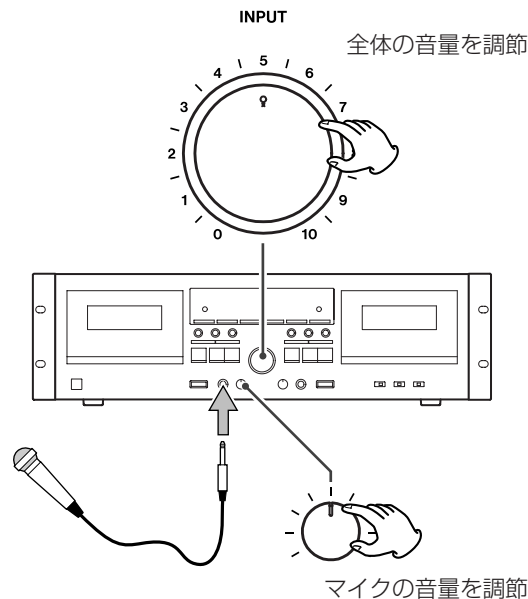
4秒以下のスペースをつくるには：

REC MUTEキーを押してから3秒以内にPAUSEキーを押すと、そこで録音一時停止状態になります。

メモ

録音一時停止中にREC MUTEキーを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、一時停止します。

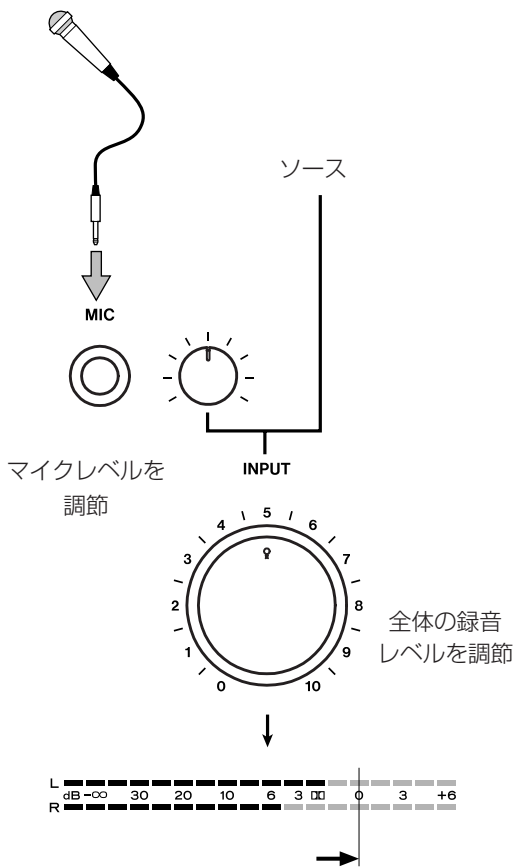
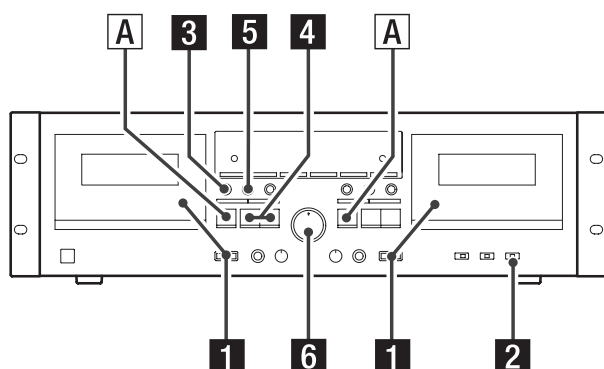
第9章　マイクミキシング録音

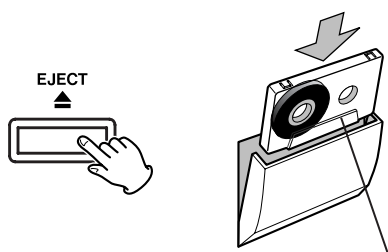
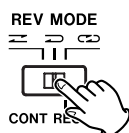
通常のソースの音に、マイクの音をミキシングして録音することができます。

フロントパネルのMIC端子にマイクのプラグを接続します。MICレベルつまみでマイクの音量を調節し、ミックスされた音の音量はINPUTつまみで調節して、録音してください。

- マイクの音は左右のチャンネルに分配され、中央に定位します。
- 一緒に録音するソースは、LINE IN端子に接続したアンプ側で選択するか、LINE IN端子に直接接続してください。TAPE1の音とマイクをミックスしてTAPE2に録音することはできません。
- ハウリングを防止するために、アンプのスピーカーの音は切ってください。録音されている音を確認する場合は、ヘッドホンなどを使用してください。
- ステレオマイクには対応しておりません。必ずモノラルマイクをお使いください。

ソースの音とマイクの音がミックスされるので、録音レベルは両方の音を出して調節してください。

ミックス録音レベルの調節

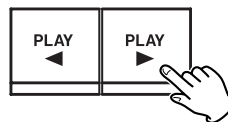
1. ソースを再生し、録音待機状態にして、INPUTつまみで録音レベルを少し低めに調節しておきます。
2. マイクの音を出しながら、MICレベル調節つまみで、ソースとマイクの音のバランスを調節します。
3. 再度INPUTつまみで、全体の録音レベルを、音が最も大きい時のメーターの表示が0dBになるように調節します。

第10章　連続録音

TAPE1とTAPE2に連続で録音することができます。

1 TAPE1とTAPE2に録音用のカセットを入れる。

2 REV MODEスイッチで ⊂⊃（CONT PLAY）を選ぶ。

メモ

必要に応じてドルビーNRのオン／オフも切り換えてください。

3 TAPE1のRECORD［●］キーを押す。

録音待機状態になり、IIと REC が点灯します。録音レベルなどを調節してください。

4 テープの録音方向を選ぶ。

ディスプレイのテープ再生／録音方向インジケーター "◄／►" が録音したい方向と逆になっている場合は、録音したい方向のPLAY［◄／►］キーを押してテープ録音方向を変えてください。

注 意

現在のテープ録音方向と同じPLAY［◄／►］キーを押すと、録音が始まります。

録音される順番は

TAPE1： A面
↓
B面
↓
TAPE2： A面
↓
B面

です。TAPE1のB面から録音を始めた場合は、B面が終わるとTAPE2の録音が始まります。

メモ

TAPE2の録音はテープ再生／録音方向の表示に関係なく、必ずA面から始まります。

5 録音を始める。

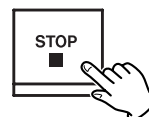
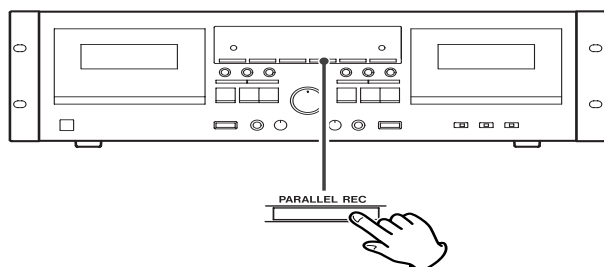
TAPE1のPAUSEキーまたはテープ録音方向のPLAY［◄／►］キーを押すと録音が始まります。

TAPE1の録音終了後、TAPE2の録音が始まります。

メモ

TAPE1からTAPE2へ切り替わる際には多少時間がかかります。

A 録音をやめるには

録音中のカセットのSTOP［■］キーを押すと録音が停止します。

第11章　同時録音

TAPE1とTAPE2に同時に録音することができます。

TAPE1とTAPE2両方にカセットを入れ、PARALLEL RECキーを押すと、同時に録音を開始します。

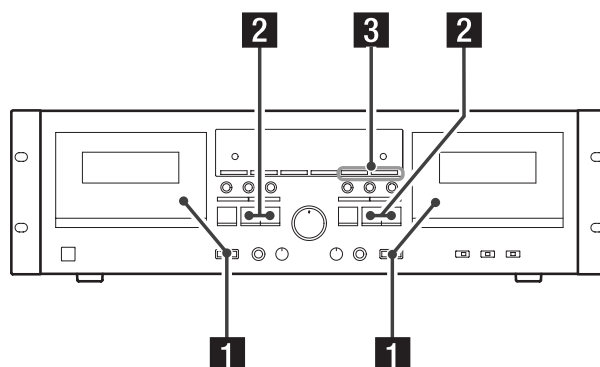
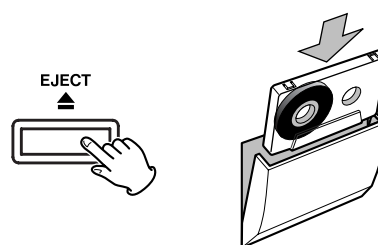
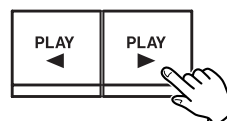
● 録音を始める前に、14ページの1～7の手順に従って、テープ録音方向、リバースモード、ドルビーNR、録音レベルなどを設定してください。
各種設定をした後は、一時停止などを解除して、停止状態にしてください。

● 同時録音中はPARALLEL表示が点灯します。

● 同時録音中は以下のキーのみ働きます。

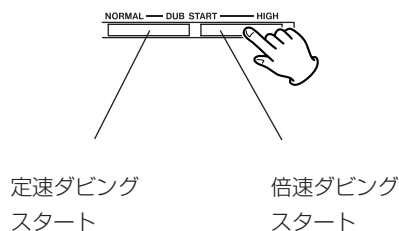
TAPE1 ：STOP [■] キー
TAPE2 ：PAUSEキー、REC MUTEキー、STOP [■] キー

● どちらかのSTOP ［■］ キーを押すと、両方とも停止します。

第12章　ダビング

1 TAPE1に再生用、TAPE2に録音用のカセットを入れる。

2 TAPE1とTAPE2の再生／録音方向を選ぶ。

ディスプレイのテープ再生／録音方向インジケーター "◄／►" が再生／録音したい方向と逆になっている場合は、PAUSEキーを押してからPLAY ［◄／►］ キーを押すと、再生／録音を開始せずに方向だけ変えることができます。方向を変えた後は、必ずSTOP ［■］ キーを押して、一時停止を解除してください。

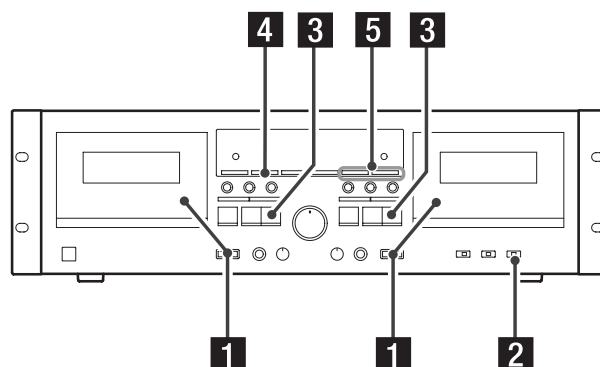
メモ

- 現在のテープ再生／録音方向と同じPLAY ［◄／►］ キーを押した場合は、テープがスタートします。
- 必要に応じて、REV MODEキーでリバースモードを選んでください。
- ドルビーNRの選択、録音レベルの調節は必要ありません。

第13章　シンクロリバースダビング

3 ダビングを開始する。

DUB STARTキーを押すと、ダビングが始まります。定速ダビングはNORMALキー、倍速ダビングはHIGHキーを押してください。
定速ダビング中は "NORM DUB" 表示が、倍速ダビング中は "HIGHDUB" 表示が点灯します。

メモ

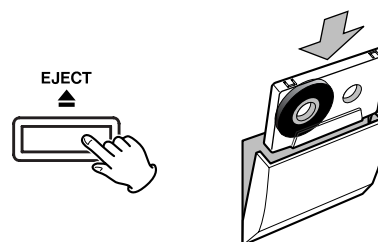
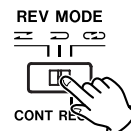
- 定速ダビング中は以下のキーのみ働きます。
  TAPE1 ：STOP [■] キー
  TAPE2 ：PAUSEキー、REC MUTEキー、STOP [■] キー
- 倍速ダビング中は、STOP [■] キーのみ働きます。どちらかのSTOP [■] キーを押すと、両方とも停止します。
- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで行った直後は、DUB STARTキーを押しても働きません。5秒以上経ってから操作してください。
- ダビング中はピッチコントロール機能は働きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。
- テレビなどの近くで倍速ダビングをすると、テレビの水平発振周波数が録音されることがあります。このような場合は、定速ダビングにするか、テレビの電源を切ってください。

TAPE1とTAPE2が、A面からB面へ移るタイミングを一致させてダビングすることができます。
テープの長さが異なる場合、短い方はA面の終わりで一時停止し、長い方のテープのA面が終わるまで待って、B面の再生／録音を同時に開始します。

TAPE1の方が長い場合

TAPE1のA面／B面とも、終わりの方は録音されません。

TAPE2の方が長い場合

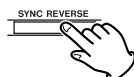
TAPE1の終了後、TAPE2は、A面／B面とも終わりの方は無信号録音になります。

1 TAPE1に再生用、TAPE2に録音用のカセットを入れる。

2 REV MODEスイッチで ⊃ を選ぶ。

3 TAPE1とTAPE2の再生／録音方向を ► にする。

ディスプレイのテープ再生／録音方向インジケーターが "◄" になっている場合は、PAUSEキーを押してからフォワードPLAY [►] キーを押すと、再生／録音を開始せずに方向だけ変えることができます。方向を変えた後は、必ずSTOP [■] キーを押して、一時停止を解除してください。

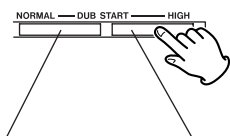
メ モ

- 現在のテープ再生／録音方向とPLAY［◄／►］キーを押した場合は、テープがスタートします。
- ドルビーNRの選択、録音レベルの調節は必要ありません。

4 シンクロリバースをオンにする。

SYNC REVERSEキーを押して、"SYNC REV" 表示を点灯させてください。

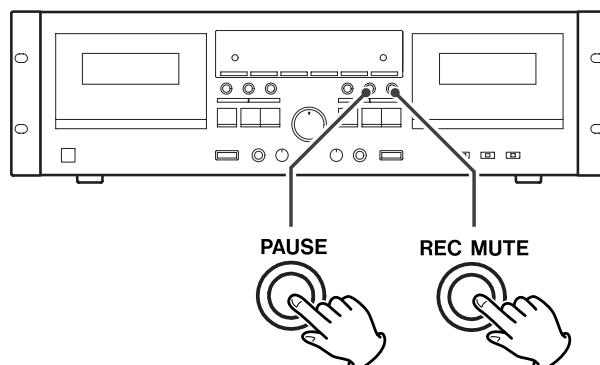
メ モ

リバースモードが ⊐ 以外の時、TAPE1とTAPE2のテープ再生／録音方向が◄の時は、シンクロリバースモードになりません。

5 ダビングを開始する。

DUB STARTキーを押すと、ダビングが始まります。定速ダビングはNORMALキー、倍速ダビングはHIGHキーを押してください。
定速ダビング中は "NORM DUB" 表示が、倍速ダビング中は "HIGHDUB" 表示が点灯します。

メ モ

- 定速ダビング中は以下のキーのみ働きます。
  TAPE1 : STOP [■] キー
  TAPE2 : PAUSEキー、REC MUTEキー、STOP [■] キー
- 倍速ダビング中は、STOP［■］キーのみ働きます。どちらかのSTOP [■] キーを押すと、両方とも停止します。
- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで行った直後は、DUB STARTキーを押しても働きません。5秒以上経ってから操作してください。
- ダビング中はピッチコントロール機能は働きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。
- テレビなどの近くで倍速ダビングをすると、テレビの水平発振周波数が録音されることがあります。このような場合は、定速ダビングにするか、テレビの電源を切ってください。

第14章　ダビング中の編集

不要な曲をカットしたり、曲間にスペースを入れながらダビングすることができます。（定速ダビングのみ）

1. ダビング中に、TAPE2のPAUSEキーを押すと、TAPE2のみ一時停止します。
   ダビング中に、TAPE2のREC MUTEキーを押すと、TAPE2は4秒間の無信号録音をしてから、一時停止します。

メ モ

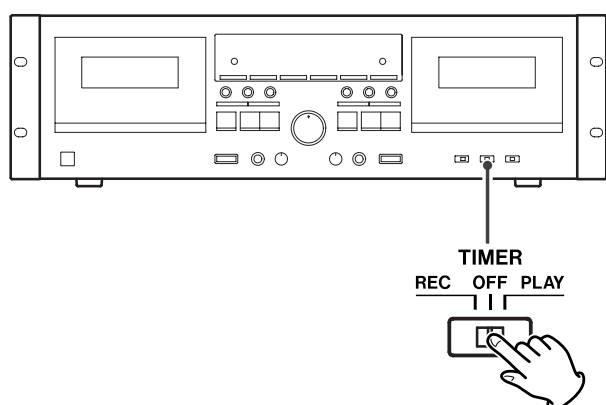
一時停止中は、TAPE1は再生を続けますが、TAPE2は録音しません。

2. 再びダビングを始めたいところで、TAPE2のPAUSEキーを押すとダビングを再開します。

第15章　タイマー再生／録音

市販のタイマーと接続すると、希望の時刻に再生／録音することができます。
下図のように接続してタイマーを設定すると、各機器の電源が切れます。設定した時刻になると、各機器の電源が入って再生／録音を始めます。

メ モ

録音するソースを準備し（チューナーなどは選局しておいてください)、アンプのセレクターを適切に設定してください。

タイマー再生

TAPE1またはTAPE2にカセットを入れた状態でTIMERスイッチをPLAYにすると、本機の電源が入った時に自動的に再生を始めます。

- TAPE1とTAPE2の両方にカセットを入れた場合は、TAPE1を優先して再生します。
- TAPE1とTAPE2の両方にカセットを入れ、リバースモードを⊂⊃（CONT PLAY）にしておくと、連続再生します。
- 再生はA面から始まります。
- 必要に応じてドルビーNRのオン／オフを切り換えておいてください。

タイマー録音

TAPE1またはTAPE2にカセットを入れた状態でTIMERスイッチをRECにすると、本機の電源が入った時に自動的に録音を始めます。

- TAPE1とTAPE2の両方にカセットを入れた場合は、TAPE1を優先して録音します。
- TAPE1とTAPE2の両方にカセットを入れ、リバースモードを⊂⊃にしておくと、連続録音します。
- 録音はA面から始まります。
- 必要に応じてドルビーNRのオン／オフを切り換えておいてください。

メ モ

タイマーを使用しない時はTIMERスイッチでOFFを選んでください。

第16章　困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

音が出ない。

➡ アンプとの接続を確認してください。
➡ アンプの操作を確認してください。

雑音がする。

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

操作キーを押しても動作しない。

➡ カセットが入っていない場合はカセットを入れてください。
➡ カセットを正しく挿入してください。

カセットホルダーが閉まらない。

➡ カセットを正しく挿入してから閉めてください。

音質が悪い。

➡ ヘッドを清掃してください。
➡ ドルビーNRを使用して録音したテープを再生するときは、DOLBY NRスイッチを録音したときと同じポジションにしてださい。

録音できない。

➡ カセットの録音防止用のつめが折れている場合は、セロハンテープなどを貼って孔をふさいでください。
➡ アンプやソース機器との接続を確認してください。
➡ アンプのセレクターが適切な設定になっているか確認してください。
➡ 録音レベルを適切に調節してください。

再生速度がおかしい。（再生のピッチがおかしい）

➡ PITCH CONTROLつまみを確認してください。

リバースできない。

➡ REV MODEスイッチで か を選んでください。
➡ REV MODEスイッチが の時は、A面から再生してください。

シンクロリバースダビングできない。

➡ REV MODEスイッチで を選んでください。
➡ TAPE1とTAPE2両方にカセットを入れてください。
➡ TAPE1とTAPE2両方ともテープ再生／録音方向を ►（A面側）にしてください。

連続再生／録音できない。

➡ REV MODEスイッチで を選んでください。
➡ TAPE1とTAPE2両方にカセットを入れてください。
➡ 連続録音は、TAPE1から開始してください。

メモ

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、1分以上経ってから始めから操作してください。

第17章　仕 様

カセットレコーダー部

トラック形式：　４トラック２チャンネル・ステレオ

ヘッド構成：　録音再生ヘッド（TAPE1／TAPE2 各1）
消去ヘッド（TAPE1／TAPE2各1）

テープ速度：　4.8センチ/秒
9.5センチ/秒（倍速ダビング時）

ピッチコントロール：
±12%

早巻き時間：　C-60テープで約160秒

モーター：　DCサーボモーター（キャプスタン）
（TAPE1／TAPE2 各1）

ワウ・フラッター：
0.25％（WRMS）

周波数特性：

メタルテープ（タイプⅣ、再生のみ）	30～19,000Hz
クロームテープ（タイプⅡ）	30～18,000Hz
ノーマルテープ（タイプⅠ）	30～17,000Hz

総合S/N比：　58dB（NRオフ、規定録音レベル）
69dB（ドルビーNRオンCCIR-ARM）

ライン入力端子（RCA）：
100mV（入力インピーダンス50kΩ）

マイク入力端子（モノラル標準ジャック）：
0.38mV（入力インピーダンス200kΩ）

ライン出力端子（RCA）：
0.46V（負荷インピーダンス50kΩ以上）

ヘッドホン出力端子（ステレオ標準ジャック）：
1mW×2（32Ω）

一般

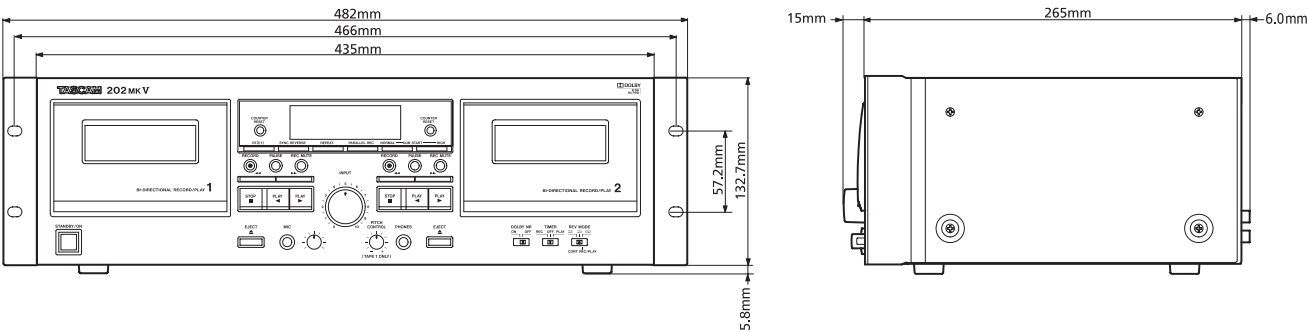
電源：　100V, 50-60Hz

消費電力：　16W

外形寸法（幅×高さ×奥行、突起部を含む）：
482 x 138.5 x 286mm

質量：　4.0kg

取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く 10:00〜12:00/13:00〜17:00です。

タスカム営業技術　〒206-8530　東京都多摩市落合 1-47

® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:30〜17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in China